

Information

確かな防除で、納得の作物づくりへ。

- 新規作用性で広範囲の害虫を防除。
- 10～14日間の長期残効で、作物の健全な生育をサポート。
- 天敵・訪花昆虫に対する高い安全性でIPMプログラムにも適応。



デュポン™ベネビア®ODの適用内容は、QRコードをスキャンしてご覧ください。

デュポン™
ベネビア®
powered by
CYAZYPYR®
OD

野菜散布用殺虫剤

農林水産省登録：第23553号

新発売



●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

●今後、弊社からの情報の受け取りを希望されない場合は、下記FAXもしくはe-mailにてご連絡ください。

農業法人で定期購読をご希望の方は、webサイトよりお申し込みください。

URL https://dcp.dupont.jp/corporationn_question.php

スマートフォンでのお申し込みは、QRコードを読み取りますとwebサイトをご覧くださいませ。



デュポン株式会社 農業製品事業部

FAX 03-3549-1819 e-mail news@dupont-info.jp

情報センター 〒104-0045東京都中央区築地3-7-10 JS築地ビル5F

※情報提供の目的でダイレクトメールを発送しております。発送、および内容に関するお問合せは、上記までお願いします。

今日もあなたのそばに。明日もあなたのために。

デュポン通信

2015.11
Vol.41

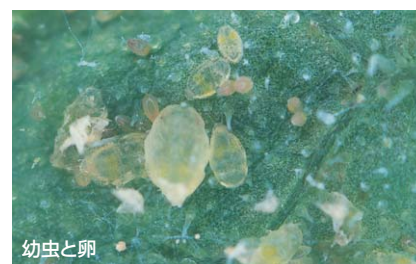
タバココナジラミ

【カメムシ目 コナジラミ科】 *Bemisia tabaci* (Gennadius)

加害作物 ナス科、ウリ科をはじめとする広範な作物(施設)

発生・形態・被害

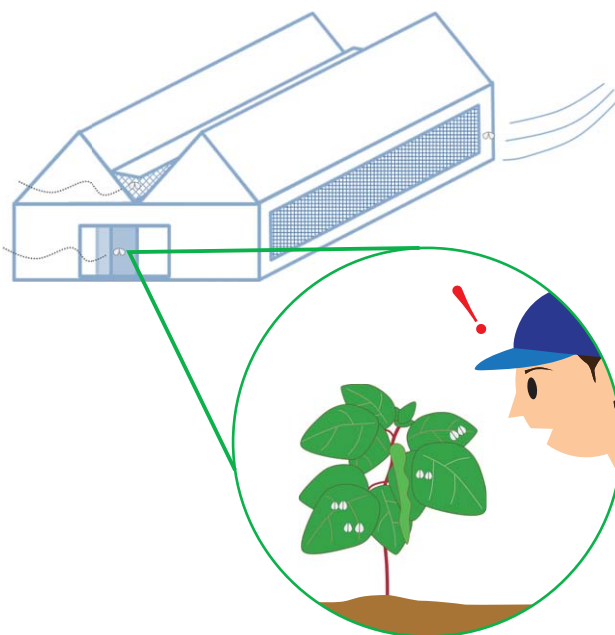
日本にもともと生息していたが、だいずなどで、ごくたまに発生がある程度であった。しかし1989年、薬剤抵抗性を身につけ、加害作物範囲も広い、新系統が海外から侵入した。これは、シルバーリーフコナジラミと命名され別種扱いされてきた。現在ではバイオタイプBと呼ばれている(以下、B)。そして近年、さらに強い抵抗性を身につけ、作物の嗜好もBと若干異なる、新系統バイオタイプQ(以下、Q)が侵入した。研究の結果、現在BとQは在来種と同じ種として扱われている。これらは外観からは全く区別が付かない。被害にはオンシツコナジラミと同様、吸汁害やすす病の誘発があるが、Bは葉の白化や果実の着色異常を、BとQはウイルス病の媒介も行う。特にトマト黄化葉巻病ウイルスの伝播は重大な問題となり、現在拡大が深刻化している。また、Qは有効な農薬が少ないので、発生したら徹底防除が必要である。それ以前に「入れない・出さない」という、地域ぐるみの協力体制がないと、抑え込むことは不可能である。



タバココナジラミは、実はトマトが嫌い?

トマトやナス、きゅうりなどを広く加害するタバココナジラミですが、加害する作物にも好みがあるのをご存知でしょうか。実はトマトより好んで加害する作物がたくさんあるのです。この嗜好性の違いを利用したコナジラミの侵入を早期発見する方法をご紹介します。

例えば施設トマトの場合、コナジラミが入ってきそうな開口部の付近にいんげんの種を植えます。侵入してきたコナジラミは、まず最初にいんげんに寄生するため、トマトに被害が及ぶ前に発見することができます。この方法であれば、施設の全てのトマトを確認せずとも、いんげんへの寄生だけを確認することでコナジラミを早期に発見することができます。薬剤散布の適期を判断するのにとても有効な手段です。また、この方法は粘着板より簡易なうえコストもかからず、いろいろな作物と害虫で使えるスゴ技です。



**タバココナジラミ
防除のお勧めは**

デュポン™ベネビア® OD、デュポン™ベリマーク® SC、デュポン™プリロツソ® 粒剤
詳しくはこちらをご覧ください。 <http://ag.dupont.jp>